



生を写す

— 中路融人と野口謙蔵 —

令和6年9月21日(土) ~ 12月1日(日)



会期中の休館日／毎週月曜日(9月23日、10月14日、11月4日は開館、
9月24日、25日、10月15日、16日、11月5日、6日、26日
入館料／大人 300円(250円) 小中学生 150円(100円)

※()内は20名以上の団体料金

母の故郷東近江市の自然に親しみ、滋賀の風景を生涯にわたり描き続けた日本画家・中路融人。近江商人の家に生まれ、ふるさと蒲生野の自然を愛し描いた洋画家・野口謙蔵。どちらも東近江市ゆかりの画家です。彼らは生まれた時代も用いる絵具も違いますが、自然がおりなす情景を愛し、日常に根ざした身近な風景に魅力を感じた点は共通しています。また、彼らが残した言葉からは、どちらも描く対象に真摯に向き合い、敬意をもって描いていることがうかがえます。

本展では、中路融人と野口謙蔵、それぞれの創作に対する姿勢、自然に対する思いについて、残された作品と言葉からひもときます。



《峠富士》中路融人



《海津の桜》中路融人



《霧の朝》中路融人



《喜雨来》野口謙蔵



《雪後》野口謙蔵

表面右上から 野口謙蔵、《冬日》、《とり入れの頃》(いずれも野口謙蔵作) 表面左上から《霧の朝》、《遙光》(いずれも中路融人作)、中路融人

～野口謙蔵没後80年記念事業～

今年は野口謙蔵が1944年に43歳で亡くなってから80年に当たります。没後80年の節目に、謙蔵の業績を振り返る様々な事業を実施します。

東近江学第3回

「野口謙蔵とその周辺人物

—多様な交友関係からみる謙蔵の人物像—

11月9日 午後1時30分～午後3時

講師 田中浩氏(がもう 夢工房理事、元東近江市職員)

参加費:500円 場所:てんびんの里文化学習センター

申込先:東近江市博物館構想推進課 Tel. 0748-24-5574

10/9(水)から申込受付

「野口謙蔵素描展」

会期:9月21日(土)～10月20日(日)

休館日:毎週月・火曜日、9/22(日)、10/16(水)

場所:東近江市蒲生図書館(東近江市市子川原町676番地)

野口謙蔵のスケッチや本の挿絵など知られざる作品を展示します。

「喜雨来一 野口謙蔵日記 昭和13～14年」を発売

野口謙蔵が昭和13年から19年に書いた日記(東近江市近江商人博物館蔵)のうち、昭和13,14年分を書籍として発売します。

絵を描くことに対する熱意、家族や友人との温かい交流や、日々の心の機微が素直な文体と自由律の短歌でつづられています。

単価:2,200円+税

近江商人博物館・中路融人記念館のほか、全国の書店やインターネットでもお求めいただけます。



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 FAX 0748-48-7105 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

- 開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/月曜日(祝日は開館し火曜・水曜休館)・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり
- 入館料/大人300円(250円) 小中学生150円(100円) ※ ()内は20名以上の団体料金
- 交通機関/・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分
- ・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分
- ・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

